

# みくびだより



## 御挨拶

拝啓 皆様にかかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

天皇皇后両陛下に於かせられましたは、六月十七日よりインドネシアにご訪問遊ばされました。昨年九月以来両陛下の二度目となる海外ご訪問となりました。また、五月と九月には秋篠宮両殿下が英国及びベトナムへのご訪問遊ばされました。

新型コロナウイルスが落ち着きを見せる昨今、両陛下を始め皇室の皆様が国内外各地へのご訪問、また行事等にご出席なられるお姿を拝見致す事が増えました事は、非常に喜ばしい限りでございます。国や国民のためにご尽力なさる皇族の皆様様の御心に習い、我々も世のため人のために真心を尽くし、日々の生活を務めて行かねばと感ずるばかりです。

さて、十一月三日斎行の崇敬会大祭は、新型コロナウイルスの影響により、令和二年・三年と中止、昨年は神事内容を縮小して斎行致しましたが、本年は当会より新調奉納されました新しい提灯を参道に掲げ、神事内容をコロナ前に戻し、会員皆様のご参列の下、粛々と執り行いました。来年は、例大祭を始め様々な神事及び行事をコロナ前の形に戻して行きたいと考えております。何卒ご理解ご協力を賜り、各神事・行事への皆様方多数のご参加をお待ち致しております。

当社では新年を清々しく迎えられますように、万全の正月準備を進めております。皆様方には御首の大神様の御神徳を拝受なされ、愈々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

敬具

宮司 三浦 篤

## 祭事報告

## ▼末廣稻荷神社例祭

八月六日

当神社境内の東に鎮座し、京都の伏見稻荷大社より御分霊を賜り、宇迦之御魂神をお祀りしております末廣稻荷神社の例祭を齋行致しました。

稲荷神社参道に掲げられた、氏子子供たちによる奉納行灯には、各々の好きなイラストが描かれており、稲荷神社例祭に華やかさを演出し、参拝者の目を楽しませておりました。



## ▼夏越大祓

八月六日

上半期に、皆様が知らず知らず受け犯した罪穢れを託されました人形（ひとがた）を、忌火にて焚き上げ致しました。

神事終了後には、神職に続きご参列の皆さまが茅の輪をくぐり、心身を清め厄災を祓い、無病息災を願われておりました。

## ▼神明神社例祭

十月十七日

本殿の北西に鎮座し、天照大御神をお祀りする神明神社の例祭をお仕え致しました。

## ▼崇敬会大祭

十一月三日

県内外より崇敬会会員の皆様にご参列賜り、恙無く齋行致しました。

昨年は、神事を縮小して行いましたが、本年はコロナ前に戻した神事内容での大祭となりました。

## ▼新嘗祭

十一月二十三日

新嘗祭は、古来より例祭・祈年祭と並ぶ重要な神事(三大祭)として行われてきました。



当社に於きましても、境内の御神饌田にて育てた初穂を神さまに召し上がって頂き、五穀豊穣への感謝と共に、皇室の安寧及び国家の安泰を祈願申し上げます。

尚、ご神前に供えられた初穂は、後に一粒一粒取り分けて、ご祈祷のお下がりとしてお頒ち致しております。

## ▼七五三参り

十一月中

七五三参りは、男の子が三歳と五歳・女の子が三歳と七歳でお参りする事は広く知られておりますが、近年では男女共に三歳・五歳・七歳でのお参りも増えております。

十月の中頃を過ぎた土・日曜日には着飾ったお子様を連れたいご家族の姿をお見かけするようになり、十一月の土・日・祝日などには、多くの参拝者で賑わいを見せておりました。

コロナ前のように、とまでは行きませんが、賑やかな七五三参りをお迎えする事が出来た事は、非常に喜ばしい限りでございます。

## 諸祭典(抜粋)

▼西宮神社例祭 七月十七日

▼長寿祈願祭 九月十五日

▼月次祭 毎月一日・二十日

滞りなく齋行致しました。

## ご奉納頂きました

▽海津市南濃町にお住まいの、中村とみ子様よりご寄付を賜り、正月用の鈴緒を新調させて頂きました。正月には多くの方に鈴を鳴らして頂けるようにと、鈴緒の数を増やしております。左写真は、鈴緒の仮設置の様子です。初詣の際は新しい鈴緒を振り、清々しい鈴の音と共に、新しい一年をお迎えになられますよう、お祈り申し上げます。（世情次第では鈴緒を撤去する場合もございます）



▽また、同じく海津市の中村とみ子様より賜りましたご寄付により、巫女装束一式（白衣・袴・緋袴・雪駄など）を六領、新調させて頂きました。

お正月には、真新しい巫女装束に身を包んだ巫女さん等と共に、皆さまの初詣を心よりお迎えさせて頂きます。

この場を借りまして、御礼申し上げます。

▽崇敬会より、以下ご奉納頂きました。

一、神前特大幟一对



一、末廣稻荷神社幟二対



一、崇敬会大祭提灯二対



以上、ご奉納ありがとうございます。ありがとうございました。

## 神職への質問 Q&amp;A

**問** 御祈祷についての質問です。

①厄年では無くても厄祓いの御祈祷を受けられますか？

②家内安全の御祈祷は家族揃って受けなければダメですか？

③交通安全の御祈祷は、車無しでも出来ますか？

**答** 御祈祷の件お答え致します。

①厄年では無くとも「悪いことが続くので」や「悪いことが起きないように」と言った厄祓いも致します。

②家内安全祈祷は、家族の代表の方が家族皆の無事健康を願う御祈祷ですので、全員がお揃いで無ければいけないと言う事はございません。

③お車無しでも御祈祷は可能です。ナンバーの読み上げが有りますので、ナンバーをお控えになりお申込み下さい。

また、お車では無く、参拝者本人の交通安全祈祷もお受け致しております。

## 『新嘗祭と神嘗祭』

かんなめさい

十月の中旬に伊勢神宮（以下、神宮）に参拝された方から、伊勢では新嘗祭の事を神嘗祭と言ひ、一ヶ月前にやるのですか？と尋ねられた事が有ります。

今回は、名前が似ており齋行時期も近い事から混同されることが多い、新嘗祭と神嘗祭についてお話いたします。

御存知の方も多いかと思いますが、新嘗祭は毎年、十一月二十三日に宮中を始め全国の神社で執り行われ、新穀を神さまに奉り、五穀豊穰の感謝を申し上げるお祭りです。

宮中では最も重要な祭典とされ、天皇陛下が自らお育てになられた新穀を皇祖を始め八百万の神々に捧げて神恩に感謝され、陛下御親も神々と共に新穀をお召し上がりになります。

新嘗祭の起源は定かではありませんが、古来より日本各地で五穀の収穫に感謝する風習があり、弥生時代にまで遡るとも言われております。

そして神嘗祭は、十月十七日に宮中および神宮で執り行われ、諸神に先立ち天照大御神に新穀を捧げ、収穫の感謝を申し上げるお祭りです。

明治時代の改暦以前は、九月に齋行されておりましたが、改暦後の九月では、稲が未成熟で御神前への奉献が間に合わない為、一ヶ月遅らせて十月に行なわれるようになりました。

また、神嘗祭には天皇陛下自らがお育てになられた稲穂が奉獻され、御正宮の内玉垣に懸けられます。全国からも新穀が奉られ、十月十五日には外宮領民による陸曳き、翌十六日には内宮領民による川曳きが行なわれ、式年遷宮の御木曳行事さながらに納められます。

神嘗祭は神宮に於いて最も古い由緒をもち、最も重要な祭典とされ、その起源は古く、倭姫命が神宮の鎮座地を求めて巡行されていた頃に有ると言われております。

また、神嘗祭を機に装束などが一新される事も有り、神嘗祭

は神宮の正月と表現されることもございます。

現在、新嘗祭は勤労感謝の日として祝日になっておりますが、神嘗祭は休日ではございません。しかしながら、昭和二十二年迄は祭日と定められ、国民皆で祝いされておりました。

新嘗祭・神嘗祭共に、新穀を神さまへ捧げ奉り、五穀豊穰への感謝を伝えるその姿は、米を主食としてきた日本人の生活の一部であり、古来より今に受け継がれている真心のあらわれであります。

皆様も、新穀に限らず、季節の初物を神さま（神棚）に供え、感謝の心と共に戴かれてはいかがでしょうか。



〈神宮神領民の初穂曳〉

## 崇敬会入会のご案内

本会は、「古来首より上の諸病を憂うる者此の社に願えば靈験あらたか：：」と伝わりし御首神社の御神徳に感謝し、ご家族の諸病平癒・無病息災・家内安全生業繁栄並びに子孫繁栄を願う崇敬者の会として設立されました。

入会を望まれます方は、社務所までご一報下さい。早々に案内資料をご用意させて頂き戴きます。

### 会員の特典（抜粋）

- ・ 入会報告祭の実施
- ・ 誕生特別祈禱の実施及び祈禱神符の授与
- ・ 主要祭典のご案内
- ・ 昇殿参拝

### 会員の種類と年会費

個人	三千円
家族	五千円
特別	一万円
法人	二万円
名誉	三万円

〈お問い合わせ先〉

神社社務所まで

〇五八四一九一―三七〇〇

祭事案内

▼年越大祓

十二月三十日



神職全員が拝殿にて大祓詞を奏上した後、皆様が罪穢れを託されました人形（ひとがた）を忌火にてお焚き上げ致します。

人形と申し込み封筒（右の写真）は社頭にご用意しておりますので、必要事項をご記入の上、申し込み封筒にお志と共に納め、社務所にお申し込み下さい。

ご不明な点は社務所にてお尋ね下さい。

▼左義長

一月十五日

一年間ご守護戴きましたご神札や御守り又神棚の注連縄やお正月の注連飾りを忌み火にて焚き上げます。

但し、注連縄・注連飾りのお持込みは、当日の午前中に限り受付致しますので、事前のお持込や、焚き上げ終了後のお持込はお断りさせて頂きます。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

▼浄火祭

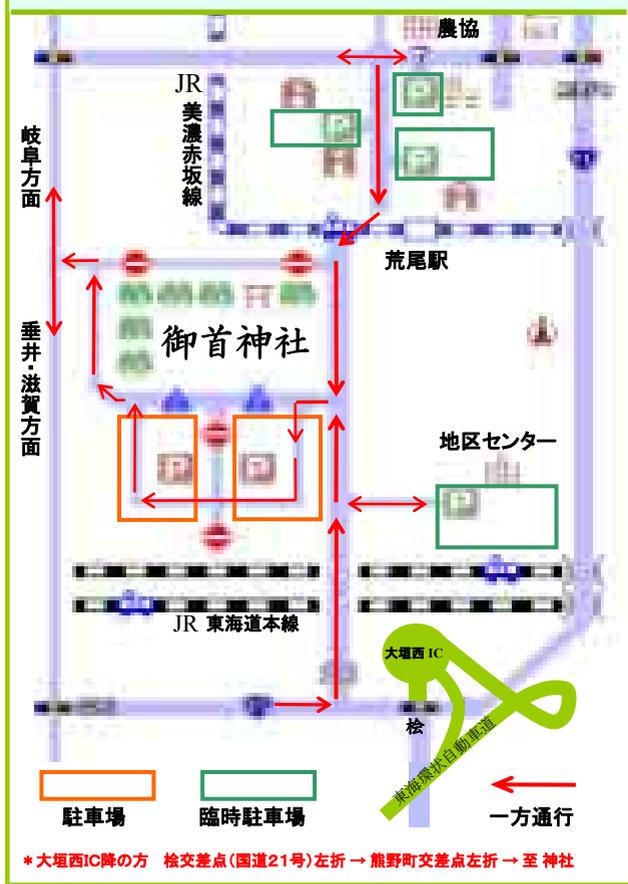
二月三日

境内に作られた大きな火炉前にて斎行致します。

皆様が祈願奉納されました金幣串や絵馬・帽子などをお焚き上げし、心願成就・厄祓いを願います。

尚、神事終了後にご持参の帽子の焚き上げが可能となりますので、帽子をお持ちになりご参拝下さい。（焚き上げは午前中終了します）

初詣 交通規制・駐車場 (元旦～3日)



\*大垣西IC降の方 検交差点(国道21号)左折→熊野町交差点左折→至神社

令和6年 八方ふさがり早見表

方位図		9 年生	
	昭和	18 年生	(抜粋)
		27 年生	
		36 年生	
		45 年生	
		54 年生	
		63 年生	
平成	9 年生		
	18 年生		
	27 年生		

高島暦参考

八方ふさがりの皆さん

令和6年 年祝い早見表(数え歳)

古稀	70歳	昭和 30年生
喜寿	77歳	昭和 23年生
傘寿	80歳	昭和 20年生
米寿	88歳	昭和 12年生
卒寿	90歳	昭和 10年生
白寿	99歳	大正 15年生

年祝いの皆さん

ご祈禱をお受けになり  
健康な毎日を  
過ごしましょう

新年 授与品・縁起物

諸祭典(抜粋)

祭事案内

- ▼ 月次祭 毎月一日・二十日
- ▼ 元旦祭 一月一日
- ▼ 祈年祭 二月十八日
- ▼ 鉾山神社例祭 三月十七日
- ▼ 例大祭 四月二日
- ▼ 南宮神社例祭 五月四日
- ▼ お田植え祭 六月上旬
- ▼ 農休祭 六月中旬

特大開運御守

初穂料三〇〇〇円



大きき凡そ 25センチ!

正月限定・二十体限定の御守です。

開運親子土鈴

初穂料一五〇〇円



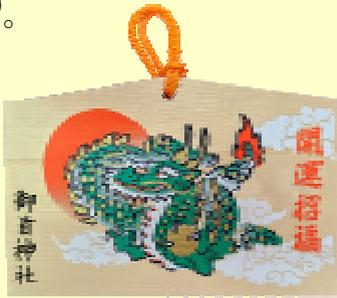
さくら鈴

初穂料五〇〇円



祈願絵馬

初穂料五〇〇円



令和六年 初祈禱のご案内

令和六年



初祈禱は、元旦祭終了後(元旦午前零時半頃)よりお仕え致しております。

毎年、多数の皆様が我先にと御祈禱(家内安全・商売繁盛・各種受験合格・病氣平癒祈願など)をお受けになられております。輝かしい年の初めに、ご家族お揃いでお参り下さい。

正月御供 鏡餅料 受付中です

正月御供(一月初旬迄受付)

- ・御供料
- ・酒類・お餅・米・野菜・果物
- ・菓子など

鏡餅料(十二月末迄受付)



正月三日間、鏡餅を御神前にお供えいたします。千円以上のお申込となっております。

\*お下がりが授与されます。  
\*郵送・書留等による申込受付中。  
詳細は社務所まで。

令和6年 厄年表(数え歳)

	歳	前厄	本厄	後厄
男	61歳	昭和40年生	昭和39年生	昭和38年生
	42歳	昭和59年生	昭和58年生	昭和57年生
	25歳	平成13年生	平成12年生	平成11年生

	歳	前厄	本厄	後厄
女	37歳	平成元年	昭和63年生	昭和62年生
	33歳	平成5年生	平成4年生	平成3年生
	19歳	平成19年生	平成18年生	平成17年生

編集部より一言  
今年もあと一カ月。皆様、お体ご自愛下さいまして、輝かしい新年をお迎え下さい。

御首神社社務所

岐阜県大垣市荒尾町一二八三の一  
Eメール syamusyoo@mikubi.or.jp  
TEL(〇五八四)九一―三七〇〇